

## マケドニア基金を受給した3教会の報告書(続き)

しています。また多くの新しい出会いが与えられました。身近な思いがけない場所に、同じ信仰を持つクリスチャンが何人もおられ、その出会いに驚かされました。教会の近隣の御家族、牧師子弟の通う保育園の親御さんとの出会いがあり、平日の夕方、気軽に教会を訪ねてくださったり、こちらからお訪ねしたりする交流があります。2021年のはじめには、思いがけないかたちで、近くにお住まいの御高齢の方々と関わりが与えられました。その出来事を通して、教会がこの地域に置かれていることの意味、この地域にあつて教会が果たすべき役割について考えています。今後、こうした地域の方々と信頼関係を築き、交わりの中で、イエスキリストのことをご紹介できればと祈っています。コロナ禍による制約の中であるからこそ、与えられた多くの出会いを感謝しています。

## 委員会報告

### 集会委員会

昨年に予定しておりました「奉仕者研修会」(4月)と「初夏の特別講演会」(6月)が新型コロナウイルス感染拡大の影響により一年延期となりました。2021年1月11日には西村敬憲師(西大寺キリスト教会)を迎えることができ、初めてオンラインで新年聖会を行いました。このように、コロナ禍が関西宣教区主催の合同集会に大きな影響を与えましたが、今年度はすべてを益に変えてくださる宣教の主の御業に期待して参りたいと思います。

### 開拓・自立支援委員会

いつもマケドニア基金へのご協力感謝いたします。今までこの基金を用いて宣教協力の働きが進められましたことを感謝したいと思います。先日の宣教区会議において3教会への一年間の支援延長が決定いたしました。これを機に3教会における福音宣教と教会形成の働きがさらに進められることを祈りたいと思います。次はしばらく和歌山開拓へと宣教協力の方向性は向けられてゆきます。新たな宣教協力の実を神様は見せて下さることを期待しつつ、宣教区諸教会のご協力のほどよろしく願いいたします。

### 青少年委員会

昨年は、予想もしなかった新型コロナウイルスの感染拡大を鑑みて、春のチャレンジャーキャンプは中止となりました。講師の老松望師のメッセージ、また、事務局を中心にチャレキャンらしい楽しい企画が準備されましたが、次回に持ち越しです。秋のソフトボール大会も、オリンピックイヤーで体育の日がなくなり、開催できずでした。今年もコロナ禍にあります。次世代を担う青少年たちの交わりが祝され、霊的な励ましの機会が持てますようお祈りください。

## 転任教師の挨拶

高橋 渉・愛子師ご家族

「主の御名を賛美します。宣教区での温かい交わりをありがとうございました。」

(赴任先：北海道宣教区 登別中央福音教会)



## 関西宣教区の予定

- ・初夏の特別講演会 6月18日(金) 講師 下川友也 師 会場 茨木聖書教会
- ・宣教区教師家族退修会 8月2(月)ー3日(火) 会場 未定
- ・講壇交換 8月22日(日) 会場 各教会
- ・宣教130周年記念大会 9月23日(木) オンライン開催

# 関西宣教区便り

## 巻頭言 「コロナで一年遅れになりましたが・・・」

松田 吉広（武庫之荘めぐみ教会牧師）

「・・・天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、  
わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。」 イザヤ書55章9節

- ・質問：関西宣教区の開拓はどうなっていますか？
- ・答え：コロナの影響で一年遅れになっていますが、着実に進んでいます。
- ・場所については：和歌山県岩出市に決定しています。
- ・スケジュールも：2023年4月の開始に向けて着々と進めています。
- ・予算的には：マケドニア基金による未自立教会への支援も終了しましたので、今後はすべて開拓に充当することが出来ます。ですので、スタート時点で近江開拓の2倍以上の準備金が整う見込みです。
- ・何より重要なことは：開拓の人材が起こされることです。そのために祈ることです。

3月2日に、委員の牧師7人で現地調査に行っていました。

当日は大雨でしたので「和歌山開拓に暗雲が立ちこめている！」などと弱気なことを言いながら、予定していた四つの教会を訪問しました。どれも小さな教会でした。和歌山での開拓が、容易なものではないことを実感しました。

調査終了後、マクドナルドでお茶しながら、「どのような伝道方法が可能か？」「どなたが重荷を持ってエントリーしてくださるか？」など話している間に雨も上がり、きれいな青空になりました。帰りは「和歌山開拓、視界良好！」などと言いながら帰途に着きました。単純この上なし！

コロナのことで一年遅れにはなりましたが、開拓委員会としては、そのこともプラスに受け止めています。「・・・神様の思いは、人の思いより高い。」からです。

引き続き宣教区の皆様には「重荷を持って和歌山開拓にエントリーして下さる方」が起こされるよう、お祈りしてください。



### 着任教師紹介 生駒めぐみ教会 平野 貴志(ひらの たかし)師

- ・出身教会 平和台恵教会 ・趣味 運動全般
- ・好きなみことば「イエスは言われた。『できるなら、と言うのですか。信じる者には、どんなことでもできるのです。』」マルコの福音書9章23節
- ・救いの証し クリスマンホームに生まれた私を、神様は3つの取り扱いの内に、信仰に導いてくださいました。① 3才頃から、頻繁に怖い夢にうなされていた私は、初めて「怖い夢を見ないように」と真面目に祈り、悪夢から解放される経験をしました。神が私の声を聴いていることを意識した瞬間でした。② 小学校に上がり、周囲との違いから教会に躓きはじめていた私を、神様は松原湖バイブルキャンプに導いてくださいました。信仰生活が義務的になっていた私は、そこで初めて、説教、賛美、祈り、礼拝の喜びを体験し、神様と一緒に歩むことへの希望を見出しました。③ 12歳の時、映画パッションとの出会いが与えられました。はじめて凄惨な十字架と自分の罪を重ねることができ、十字架の救いを実存的に意識するきっかけとなって、2年後に受洗に導かれました。

・祈禱課題 新たな環境下で、働きと体調が守られるように。

(4-1)

## 宣教区各教会のコロナ状況下の報告と祈祷課題

**生駒めぐみ教会** 昨年3月来、午後の行事をほぼなくし、4月以降礼拝時間を1時間に短縮の上ネット礼拝導入、感染拡大の状況に合わせて礼拝形態を随時変更。教会員の理解と協力に感謝し、交わりの不足と伝道の課題改善のために祈っている。

**茨木聖書教会** 緊急事態宣言中も、毎主日の水尾会堂での4回の礼拝、彩都会堂での2回の礼拝、そしてインターネットでの礼拝を献げ続けることができました。今後も、感染防止対策に努めながら、会堂で集まったの礼拝とインターネットでの礼拝を継続する予定です。

**近江聖書教会** くすぶる灯心を消さない私たちの主は開拓間もない小さな教会に「主を信頼して歩むことを」教えてくれています。「権勢によらず、能力によらず、我が霊によって」と言われる主に信頼し今年も歩めることを祈っています。

**学園前聖書教会** 年間聖句「マタイの福音書28章18-20節」のみことばに導かれ、年間標語「福音に仕える教会」の歩みが始まっています。コロナ状況下、対面式とオンライン並行の礼拝・CS・諸集会を実施中です。地域宣教のためお祈りください。

**川西聖書教会** 全ての集会は通常通り開催しYouTubeライブやズーム配信への移行を推奨しています。高齢者やネット移行者が以前のように集会出席に戻れるようお祈りください。

**京都めぐみ教会** 礼拝は二部制で会場を分散（一部オンライン）して実施しています。CSは継続しつつも、外向きの企画は休止中です。毎週の礼拝や諸活動の祝福と、救われるたましいが起こされるようお祈りください。

**くずは聖書教会** 新型コロナウイルス感染対策として、検温と手指消毒の徹底、全員マスクとフェイスシールドを着用して礼拝、礼拝献金の廃止と献金口座振替、会堂に換気扇と工場用扇風機を設置、講壇にパーティションを設置。祈祷課題は、① 牧師の病の癒し ② 「家の教会」のため ③ 聖書完読の推進

**神戸恵みチャペル** 昨年、緊急事態宣言が出された時期は、来会はずオンラインだけの礼拝が続きましたが、それぞれ自宅で礼拝を守ることができました。コロナ禍にあっても新来会者、求道者、受洗者が与えられるようお祈りください。

**高槻聖書教会** オンラインを併用し、集会を継続しました。テーマ「静まって神を知る」(詩篇46篇10節)です。祈祷課題は、① キリストの弟子づくりのために。信仰共同体形成のために。④ コロナ禍でのCSや交わりに知恵が与えられるように。

**播磨キリスト教会** 緊急事態宣言の時期だけ礼拝と集いを中止し、その他は通常的にしています。祈祷課題は、① 教会内の多くの高齢者が守られますように ② この時期、居場所がない人々が播磨キリスト教会を通して救いに導かれますように。

**蜷池聖書教会** 教会ではライブネット併用の礼拝が続けられています。コロナ禍においても教会員相互の交わりが深められるように。様々な制約がある中、福音宣教のために知恵と力が与えられるように。求道者が与えられ、救われる人が起こされるように。

**松原聖書教会** 会堂2～4階に分散し、密を避け、換気に気を付けて礼拝しています。会食を控える必要があるため、家の教会の活動が制限され、子ども食堂も休止状態です。気兼ねなく交わり出来る日の回復を祈って心待ちにしています。

**箕面めぐみ聖書教会** ① 主日礼拝をはじめ各諸集会が祝福されますように ② 神の家族一人一人の霊肉が守られますように ③ 主のからだなる教会の霊的成長と宣教のために ④ 受洗者や信仰決心者が起こされますように ⑤ 教会の霊的、経済的が必要が満たされますように。

**武庫之荘めぐみ教会** ① 現在は礼拝は3部、CSは2部に分散して毎週教会に集まっている。コロナ感染を免れ、教会のわがが進められるように。② 求道者の救い。子弟への信仰継承—特に高校生が増えている。中高生のフォローのために。

**大和郡山めぐみ教会** ① 教会と地域の関わりが祝福されますように、今後の方向性が導かれますように ② 重い基礎疾患を持つ姉がコロナの感染から守られ、日々、健やかに生活できますように ③ 教会で発行している通信が豊かに用いられますように。



## マケドニア基金を受給した3教会の報告書



**神戸恵みチャペル** 主の御名を賛美します。神戸恵みチャペルは2016年よりマケドニア基金の支援を頂き、5年が経ちました。この間、私達は関西宣教区の皆様のあたたかいお祈りとご支援により、どれほど支えられ励まされたか分かりません。まさにイエス様からの大きな愛により支えられている実感を、教会員一同が得ることができました。その5年目となった2020年の感謝を2つ報告いたします。

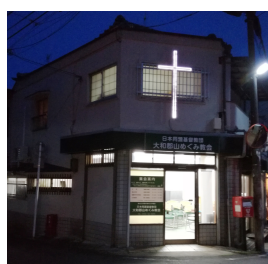
1つ目はオンライン礼拝による伝道です。昨年は新型コロナウイルスにより、礼拝を安全かつ社会的責任をもって継続できるよう、教会員向けのオンライン礼拝を昨年3月から始めました。そしてこのオンライン礼拝を教会員だけでなく開けた礼拝による伝道を目指し、昨年10月からは当教会のYouTubeチャンネルを作り、毎週の礼拝を公開しています。これにより遠方にいる友人や家族、またご病気で教会に来れない方々が礼拝に参加できるようになりました。これはこの厳しい状況の中にあって与えられた、新しい伝道の姿であると感謝しています。そして礼拝出席者数も減ることなく、以前より安定して増やされていること、また新しい信徒も与えられ感謝いたします。2つ目は高齢者への伝道です。数年前から私達の教会周辺に高齢者住宅が増えてきて、高齢者の方が定着されやすい教会環境を整えていく必要性が見えてきました。教会墓地があれば高齢者の方が安心して教会に属することができ、召天者記念礼拝や墓前礼拝を通して、家族への伝道も広がるため、墓地購入をいたしました。現在、近隣から新しく3名の方が続けて礼拝を守っておられます。今後財務面で自立できる教会として神様に栄光を帰する教会となるよう、引き続きお祈り頂ければ幸いです。

**箕面めぐみ聖書教会** いつも関西宣教区の皆さまの温かいお祈りと尊い

献金を心から感謝いたします。昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大によって、私たちの教会も影響を受けました。4月には、緊急事態宣言が発令され、来会自粛をお願い、イースター礼拝も会堂には牧師夫妻だけが出席する状態でした。来会を再開しても、感染予防対策として、マスク着用、アルコール消毒、検温を徹底し、主日礼拝では、会衆賛美の自粛、時間短縮、分散礼拝など、教会の日常がガラッと変わりました。未曾有の事態が



続き、今後どうなっていくのか…不安な日々が続きました。しかし、このことを通して、良い影響もありました。まずオンラインでの礼拝が始まり、自宅で家族と一緒に御言葉に聴ける機会が増えました。また、病院や介護施設からも同じ時間に礼拝を視聴できるようになり、ホームページの訪問者も増え、多くの方に教会の様子を知ってもらえるようになりました。何より、何気ない教会生活が決して当たり前ではなく、どれほど有り難いことなのかを知ることができ、神の家族の交わりが一層強くなりました。新来者や求道者は減少し、受洗者も信仰決心者も起こされませんでした。主日礼拝も水曜祈祷会も一度も休まずにささげられましたことを感謝いたします。様々な要因が重なって、教会会計としては非常に厳しい状態にありましたが、マケドニア基金をはじめ多くの兄弟姉妹からのご支援によって必要が満たされました。今年もコロナ禍は続きますが、年間聖句の詩篇126篇4、5節を覚えて、涙とともに種を蒔き、収穫の喜びを期待して歩んでいきたいと思っております。引き続き、皆さまのお祈りとご支援に覚えていただければ幸いです。



**大和郡山めぐみ教会** 大和郡山めぐみ教会は、マケドニア基金の支援を受けて、中古の物件を購入することが許され、2019年5月から新しい場所で礼拝をささげさせていただいています。関西宣教区の諸教会の皆様の祈りと御支援、そして何よりも神様のあわれみによるものと思っております。心より御礼を申し上げます。コロナ禍による制約の中で、「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くて悪くてもしっかりとやりなさい」（第二テモテ4章2節）との主のご命令にお従いたく、地域への証しの方法を模索してまいりました。そして昨年

秋より、教会紹介、みことば、兄弟の救いの証しを掲載した「南郡山通信」の発行に導かれました。毎号、教会員有志で、教会の近隣を中心に、大和郡山市内に配布しています。通信を通して、イエスさまと出会う方々が起こされるように祈りつつ、2021年も継続して発行